

第2回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日 時 2014年12月25日(水) 17:00～18:00

場 所 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. 廃棄物対策分野の技術戦略プラン本文について

NDF事務局より、技術戦略プラン2015の本文案を説明した。前回の専門委員会で審議された骨子案に基づき作成したものであることを補足した。

2. 委員からのコメントへの対応について

NDF事務局より、前回委員から指摘があったコメントに対する対応状況を説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- ロードマップと技術戦略プラン2015との関係が分かる表現が冒頭にあるとわかりやすい。
- 最初から各論・個別事項に入ってしまうと全体が見えにくくなるので、まずは原則的なことを記載した上で、次に解説的な表現を記載する構成が望ましい。
- 廃棄物対策に関しては、初めにIAEAの文書等に沿って基本的考え方を示した上で、今般の福島第一原子力発電所事故廃棄物対策の具体論に展開する流れを示すようにしたほうが、理解しやすいのではないか。
- 性状把握の場合では、綿密で前広な計画を策定して実施すべき、分析能力のリソースにも限りがあるので効率的に活用する方策をとるべき、といった原則論を示すことが重要なメッセージと考えられる。
- 保管管理計画において、容器の仕様は重要なファクターになってくると考えられる。容器に対する規制の制約に対して合理的に対応する考え方があっても良いのではないか。

3. 基本的考え方とIAEA、ICRP文書の対応表(審議)

NDF事務局より、『『基本的考え方』とIAEA、ICRP文書の対応表』について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 引用するICRP文書Publ.81は、長寿命核種を含む放射性固体廃棄物の処分戦略のように見えて、適切ではないと思われるので、Publ.122のほうが適切ではないか。

4. その他議題

- 次回廃棄物対策専門委員会について

以 上